

四・四メートルで、県の天然記念物に指定されている。

ここは昔、満福寺という寺があった所で、古館と深い関係があると思われる。当地方では、種蒔桜と呼んで、昔はこの桜が咲くと百姓は苗代準備をしたという。

ここには万延元年、九月吉日と記された。不動尊の石像があるので、不動様の桜ともいつている。十夜観音の像や、馬頭観音の像も祀られてある。

台地の端にあつて、たびたびの落雷で被害を受けたが、不思議に樹勢が回復して、毎年みごとな花を咲かせている。西の地点から阿弥陀三尊仏の石碑が数年前掘り出された。館と同年代のものであろう。

県指定天然記念物（話者 大河原浩一・小林利一）

矢中の一本松

《横田》

横田字矢中に大きな一本の松の木があつた。昔、八幡太郎義家が前九年の戦に来て、八幡岳に陣を敷いて、ここより弓を射た矢がこの地に落ちたので、村人は松を植え、祠を建てて記念したと伝えられる。明治初年まで、矢中大明神と称する小祠があつたが、今は菅原神社境内に遷された。今は松も切れ、田圃となつてわずかに小さな土壇が残っている。村角力の四股名は、横田は一本松と呼んでいる。

（話者 池田藤一）